

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587051301	科目番号 / Course code	05870513
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15361_005		
授業科目名 / Course title	コミュニケーションの生物学 (脳の成り立ちと働き) / Brain Development and Functioning		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有賀 純 / ARUGA Jun, 中川 慎介 / Nakagawa Shinsuke, 松永 隼人 / Matsunaga Hayato, 畑山 実 / Hatayama Minoru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	有賀 純 / ARUGA Jun		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	有賀 純 / ARUGA Jun, 中川 慎介 / Nakagawa Shinsuke, 松永 隼人 / Matsunaga Hayato, 畑山 実 / Hatayama Minoru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aruga_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	大学院医歯薬学総合研究科 医科薬理学		
担当教員TEL/Tel	095-819-7043		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水 16:30-17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ヒトに限らず多くの動物では社会行動が見られる。脳の働き、発達、疾患について理解を深め、現 在の脳科学が、社会行動のしくみをどのように解明しようとしているのかを学ぶ。自ら講義を行う ことを体験し、発表スキルを高めるとともにより良い講義のあり方について考える。		
授業到達目標/Course goals	1.脳科学と社会性行動の成り立ちについて、意欲的に学習に取り組むことができること(学ぶ力) 。 2.講義を通じ、得られた知識を自ら咀嚼し、疑問に感じたこと、自分の意見等をまとめることがで きること(考える力)。 3.グループワークに積極的に参加することができること(関わる力)。 4.講義中での議論の場あるいはプレゼンテーションにおいて、自分の意見を積極的に発言すること ができること(表現する力)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席点(予習課題) 20 講義評価 20 講義における質疑応答への参加 20 体験講義 40		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	パワーポイントの使い方を勉強しておくこと。体験講義担当者は渡された資料だけでなく、自らの 興味に応じて講義内容を拡張してもよい。発表日の5日前にはパワーポイント講義資料を教官に提出 して、改訂のアドバイスを受ける。参加者は講義当日にLACSから、その日の講義の評価を入力する 。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	1.神経科学-脳の探求- ベアー他(著) 西村出版 2. 神経科学テキスト 脳と行動 カールソン(著) 丸善		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	有賀 純/市中病院内科臨床/実務経験に基づき、薬物の作用について本授業科目に必要な脳の働き、発達、疾患について理解を深め、現在の脳科学が、社会行動のしくみをどのように解明しようとしているのかを学び、議論できるように指導する。/ 中川 慎介/病院薬剤部・保険薬局/実務経験に基づき、薬物の作用について本授業科目に必要な脳の働き、発達、疾患について理解を深め、現在の脳科学が、社会行動のしくみをどのように解明しようとしているのかを学び、議論できるように指導する。/ 松永 隼人/医科薬理の医師として実務経験を有している。/実務経験に基づき、薬物の作用について本授業科目に必要な脳の働き、発達、疾患について理解を深め、現在の脳科学が、社会行動のしくみをどのように解明しようとしているのかを学び、議論できるように指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	神経生物学入門：脳と行動
第2回	ニューロンとグリア
第3回	シナプス伝達
第4回	神経系の構造
第5回	神経系の発生と発達と進化
第6回	脳と感覚系 1
第7回	脳と感覚系 2
第8回	脳と運動
第9回	脳と情動
第10回	脳と言語・社会性
第11回	脳と記憶・学習
第12回	脳と幹細胞・再生医療
第13回	脳と疾患
第14回	脳と血管・創薬
第15回	脳と治療薬

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587061901	科目番号 / Course code	05870619
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15601_005		
授業科目名 / Course title	コミュニケーションの生物学 (地域文化と保健医療) / Health Care in Regional Culture		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	前田 隆浩 / Maeda Takahiro, 有賀 純 / ARUGA Jun, 永田 康浩 / Nagata Yasuhiro, 山梨 啓友 / Yamanashi Hiroto, 松坂 雄亮 / Matsuzaka Yusuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	前田 隆浩 / Maeda Takahiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	前田 隆浩 / Maeda Takahiro, 永田 康浩 / Nagata Yasuhiro, 山梨 啓友 / Yamanashi Hiroto, 松坂 雄亮 / Matsuzaka Yusuke		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	前田隆浩 / tmaeda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	大学院医歯薬学総合研究科 地域医療学分野		
担当教員TEL/Tel	095-818-7189		
担当教員オフィスアワー/Office hours	16:30?17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人は様々なコミュニケーションをとりながら社会生活を営んでいるが、その構造や様式・形態は地域社会の人口構成や文化的背景に大きな影響を受ける。地域社会や地域医療を取り巻く環境が大きく変化する中、地域特性や社会的背景を踏まえながら、地域の保健医療を切り口に人の社会的コミュニケーションの多様性とその意義について学ぶ。特に長崎県は全国一離島が多く、医療・介護等に関連する社会的資源が限られている中、二次医療圏内の保健・医療・福祉・介護の専門職連携や医療圏を超えた医療連携によって、組織的な医療・介護サービスが提供されている。その現状を理解した上で、職種や地域を越えた多様なコミュニケーションの重要性を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	地域医療・ケアの現状と課題を理解した上で、コミュニケーションの地域特性と重要性について、意欲的に学習することができる(学ぶ力)。 講義を通じ、得られた知識を自ら咀嚼し、疑問に感じたこと、自分の意見等をまとめることができる(考える力)。 グループワークに積極的に参加することができる(関わる力)。 講義内での議論、プレゼンテーションにおいて、自分の意見を積極的に発言することができる(発言する力)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	出席40、グループ学習40、プレゼンテーション20		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	パワーポイントの扱いに慣れておくこと。積極的にニュース等で医療関係の時事問題に触れておくこと。		
キーワード / Keywords	医療コミュニケーション、地域包括ケアシステム、多職種連携、地域医療、離島・へき地医療、医療政策、障害者福祉、国際保健		
教科書・教材・参考書 / Materials	地域医療テキスト 自治医科大学監修 医学書院		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	前田 隆浩/医師としての実務経験を有している。/各職種での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 永田 康浩/医師としての実務経験を有している。/各職種での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 松坂 雄亮/精神神経科において医師としての実務経験を有している/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 山梨 啓友/総合診療科において医師としての実務経験を有する。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、アイスブレイキング、地域医療理解の初歩
第2回	地域包括ケアシステムと多職種連携?@
第3回	地域包括ケアシステムと多職種連携?A
第4回	地域包括ケアシステムと多職種連携?B
第5回	地域医療と離島・へき地医療?@
第6回	地域医療と離島・へき地医療?A
第7回	地域社会とコミュニケーション?@（予備日になる可能性有り）
第8回	地域社会とコミュニケーション?A（予備日になる可能性有り）
第9回	障害者福祉とノーマライゼーション?@
第10回	障害者福祉とノーマライゼーション?A
第11回	国際保健とグローバル化?@
第12回	国際保健とグローバル化?A
第13回	異文化とコミュニケーション?@
第14回	異文化とコミュニケーション?A
第15回	総括

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/02/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587062101	科目番号 / Course code	05870621
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB15611005		
授業科目名 / Course title	コミュニケーションの生物学 (脳神経の病気) / Neurological Diseases		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辻野 彰 / Tujino Akira, 有賀 純 / ARUGA Jun, 立石 洋平 / Tateishi Youhei, 白石 裕一 / Shiraishi Hirokazu, 吉村 俊祐 / Yoshimura Shiyunsuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	辻野 彰 / Tujino Akira		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	辻野 彰 / Tujino Akira, 立石 洋平 / Tateishi Youhei, 白石 裕一 / Shiraishi Hirokazu, 吉村 俊祐 / Yoshimura Shiyunsuke		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akrtjn nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	長崎大学病院 脳神経内科		
担当教員TEL/Tel	095-819-7494		
担当教員オフィスアワー/Office hours	16:30?17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	脳神経の病気には、脳梗塞や脳出血、認知症、パーキンソン病、てんかんなど、よく耳にする病気 から、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、筋ジストロフィー症など聞いたことのないような難 しい病気まで多くの病気がある。脳神経の様々な病気について理解し、ハンディキャップのある人 に対するコミュニケーションの多様性と重要性を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	1. 脳神経の病気について、意欲的に学習に取り組むことができること (学ぶ力)。 2. 講義を通じ、得られた知識を自ら咀嚼し、疑問に感じたこと、自分の意見等をまとめること ができること (考える力)。 3. グループワークに積極的に参加することができること (関わる力)。 4. 講義中での議論の場あるいはプレゼンテーションにおいて、自分の意見を積極的に発言する ことができること (表現する力)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	出席40、グループ学習40、プレゼンテーション20		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	パワーポイントの扱いに慣れておくこと。		
キーワード / Keywords	脳卒中、認知症、てんかん、パーキンソン病、神経感染症、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、 運動障害、感覚障害、記憶障害、言語障害、意識障害		
教科書・教材・参考書 / Materials	参考書 病気がみえる<vol.7> 脳・神経 医療情報科学研究所 神経内科ハンドブック 第5版: 鑑別診断と治療 医学書院		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	辻野 彰/医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 白石 裕一/脳神経内科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 立石 洋平/脳神経内科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 吉村 俊祐/脳神経内科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回 (12/3, 3)	脳・神経の仕組みと機能
2回 (12/3, 4)	脳卒中
3回 (12/10, 3)	運動機能とその障害
4回 (12/10, 4)	認知症
5回 (12/17, 3)	感覚機能とその障害
6回 (12/17, 4)	てんかん
7回 (1/7, 3)	記憶とその障害
8回 (1/7, 4)	パーキンソン病
9回 (1/14, 3)	言語機能とその障害
10回 (1/14, 4)	神経感染症
11回 (1/21, 3)	意識障害
12回 (1/21, 4)	多発性硬化症
13回 (1/28, 3)	脳・神経の病気のまとめ
14回 (1/28, 4)	筋萎縮性側索硬化症
15回 (2/4, 3)	レポート作成と提出